

# IT導入補助金の 支援事業者に採択

光和コンピュータはこのほど、経済産業省の

標を掲げることが条件に  
なっている。

IT導入補助金2024の支援事業者に採択され、書店向けの「KPOセルフレジ」「外商システム」、出版社向けの「出版ERPシステム」「販売管理(取次・直販)システム」「製作・原価管理システム」、電子書籍の売上や印税の管理システム「PUBNAVI(パブナビ)」など、各種ツールの登録を完了した。

3次締切りは5月20日、4次締切りは6月19日。以降のスケジュールは随時公表される予定。光和コンピュータでは、過去8年間、POSシステムやERPシステムでIT補助金の実績がある。昨年は7社で採用された。申請実務については今年も行政書士を紹介してサポートしていくという。

経産省の補助金施策は、昨年から「デジタル化基盤導入枠」が廃止され、EC機能をもつITツールの補助は対象外となった。

「通常枠」で申請する補助金は、費用の2分の1以内で、5万円以上150万円未満の補助を受けられる。ただし、労働生産性の向上や賃上げ目